

JR 駅舎

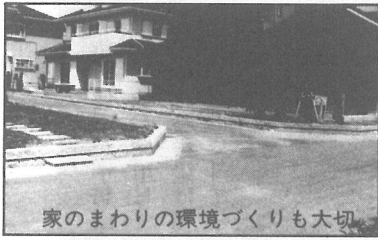
問 まちの顔ともいえる駅舎とその周辺の整備について、町の考えは

答 駅周辺の整備は、まちのイメージアップにつながるものとして関心が高い。駅舎自体、都市計画と直接かわりはないが、周辺の環境整備と併せて検討すべきであるので、JR当局とも協議し、よりよい環境をつくりあげたい。

住環境の整備

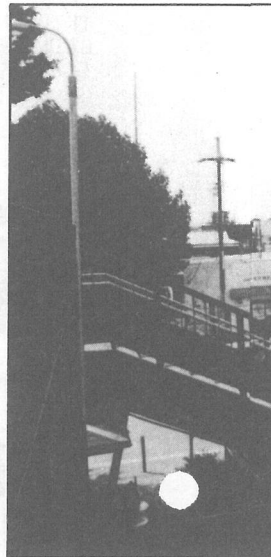
問 道路や生活排水など、住環境を確保するため、①住宅地の接道・角切りの義務 ②生活排水の農業用水路への放流について、町の考えは

答 ①10アール以上の宅地開発を行う場合は県知事の許可が必要であり、道路幅や角切りなども審査の対象となっている。10アール未満のミニ開発については、建築確認申請（着工前の書類手続き）の段階でチェックし、関係者の協力を得て、道路環境を整備している。②今年、下水道エリアマップを作成することになっているが、下水道事業には多くの財源と年月



家のまわりの環境づくりも大切

が必要である。したがって、下水道が整備されるまでの間は、処理能力の高い合併処理浄化槽の普及に努めるとともに、農業用水路への放流については、農業者及び施設管理者の同意を得るよう指導していく。



地下水汚染 現在なし

焼却残灰の回収

— 関心の高い環境対策 —

問 町が行っている焼却残灰の回収は月2回行っているが、1時間という短い時間のため限られた人だけが利用しているようだ。時間の延長など、受け入れ体制の充実を希望する。

答 今まで回収についての苦情は入っていない。4月からの機構改革によって係も増員している。一部、改善を考えている。具体的には、月2回は変更しないものの、回収時間を8時30分から午後3時までとし、この時間に持ち込めない人への要望についても、相談に応ずる考えでいる。

排水路の汚染

問 家庭排水・工場排水に加え、最近では、ゴルフ場で散布される薬剤による環境汚染が深刻になっている。町の水質検査体制は

答 定期的な水質検査は、栗山川を対象に年6回、町内の5地点で実施している。このほ

地下水汚染

か、農業用水については、東部土地改良区が独自で行っており、問題は生じていない。しかし、水質浄化は思うように進んでいないのも事実だ。ゴルフ場の農業については、現行制度のなかで厳しく規制されているが、当町としても、一歩踏み込んだ協定を結ぶことなどによって、適正な使用が図られるよう努力する。

問 発がん性物質による地下水汚染が話題になっている。当町の実態は

答 町では、発がん性物質といわれているトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1:1:1トリクロロエタンの3物質にしほり、



縦貫道路の構想はこの道か？
〔横芝農協西〕